

生活環境課の取組



令和7年度 Let's Try Eco 啓発ポスターコンクール



市長賞受賞作品

これまで主な取組

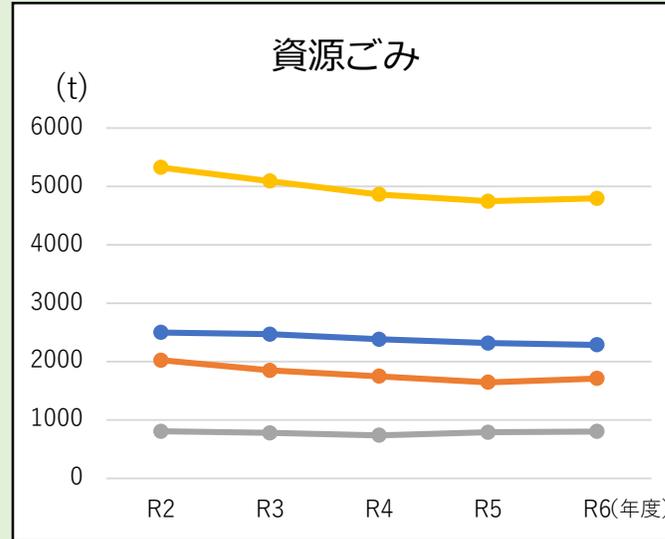
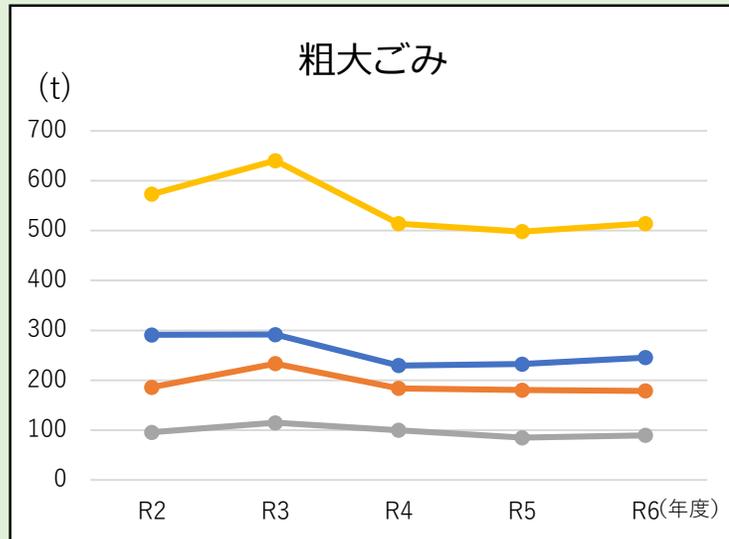
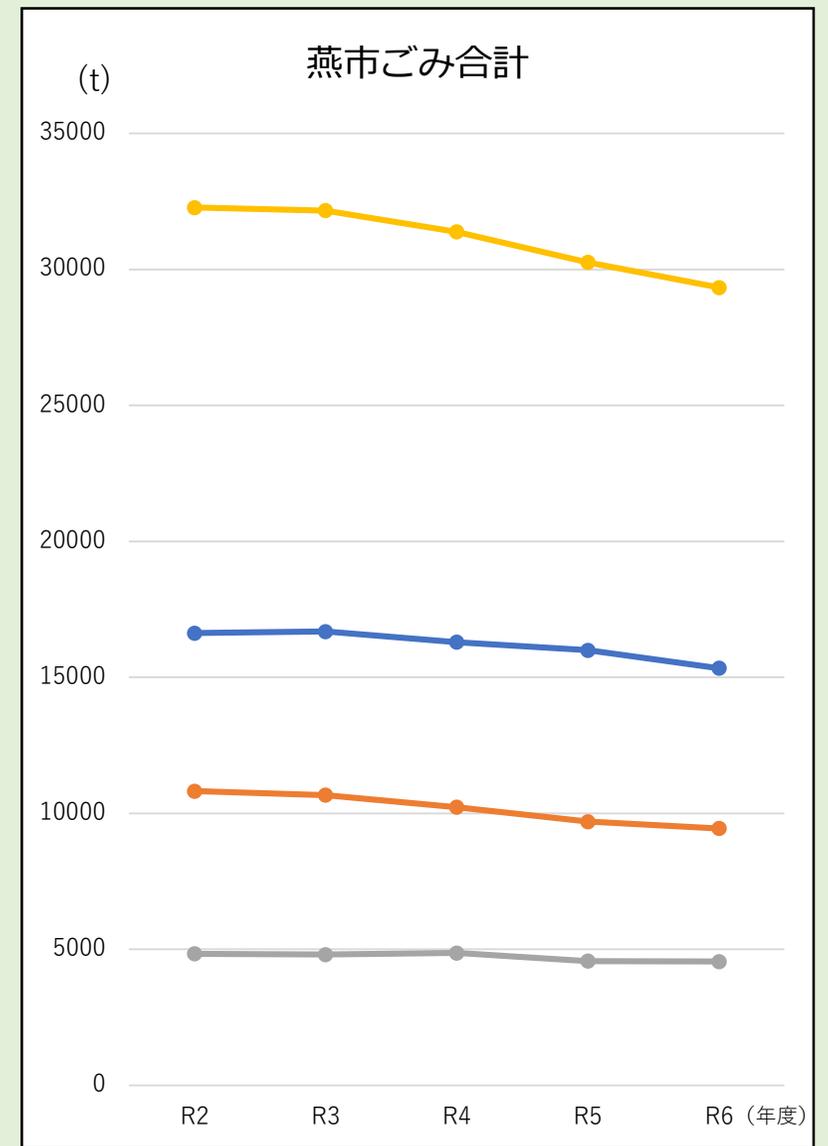
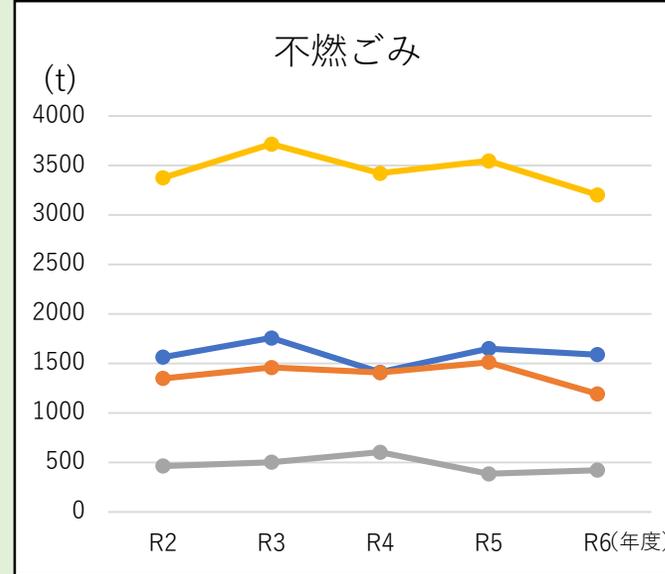
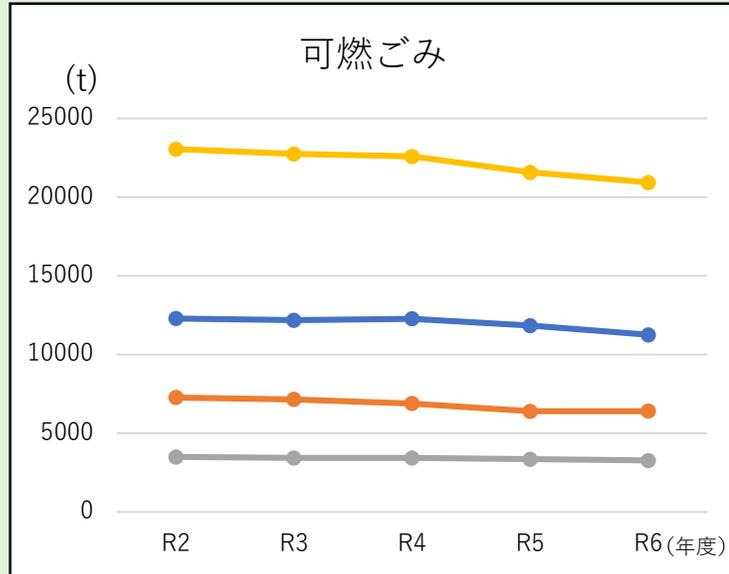
ゼロカーボンシティに向けた取組

- 太陽光発電施設設置
 - 令和6年度までに設置された太陽光パネル
 - **クリーンセンター館野 第一埋立地**
 - R6.11.2稼働
 - 想定発電量 2,662千Kwh/年
(一般家庭約580世帯分の年間電力に相当)
 - 屋内遊戯施設
 - 吉田南小学校駐車場
 - 野本 (メガソーラーTSUBAME site)
 - 小学校屋根 (おひさまPJ)
 - 市役所庁舎



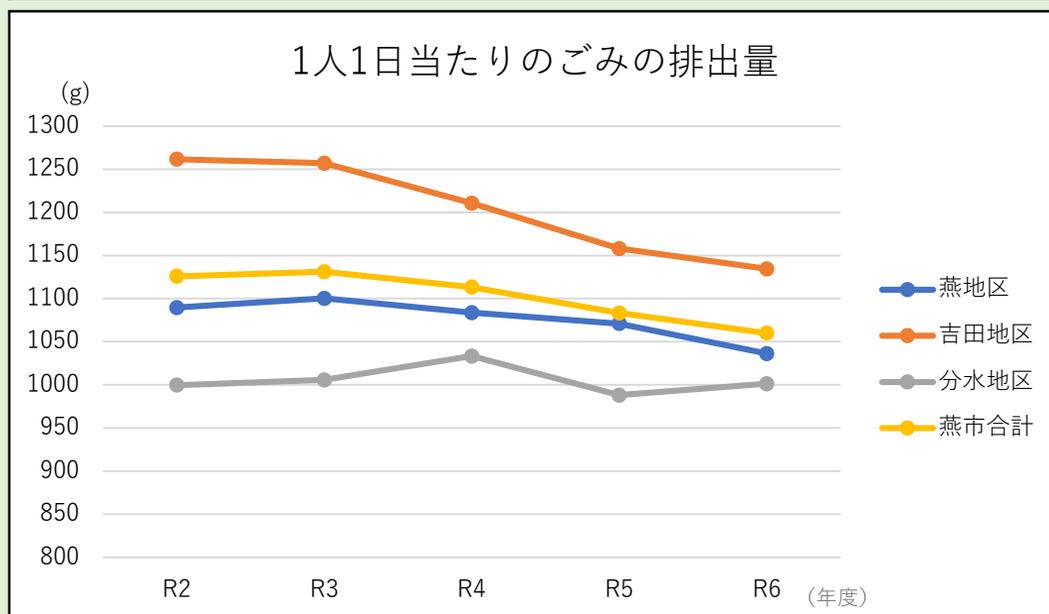
ごみの収集量の推移①

● 燕地区 ● 吉田地区 ● 分水地区 ● 燕市合計



ごみの収集量の推移②

年度	燕地区					吉田地区					分水地区					(t)
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	
可燃	12,291	12,184	12,273	11,838	11,256	7,274	7,144	6,888	6,394	6,402	3,484	3,423	3,423	3,348	3,270	
不燃	1,563	1,757	1,411	1,649	1,589	1,349	1,458	1,407	1,512	1,193	463	501	603	385	420	
粗大	291	292	230	233	246	186	234	184	180	179	96	115	100	85	90	
資源	2,483	2,455	2,379	2,279	2,249	2,008	1,836	1,748	1,607	1,672	790	765	735	751	767	
合計	16,628	16,688	16,293	15,999	15,340	10,817	10,672	10,227	9,693	9,446	4,833	4,804	4,861	4,569	4,547	

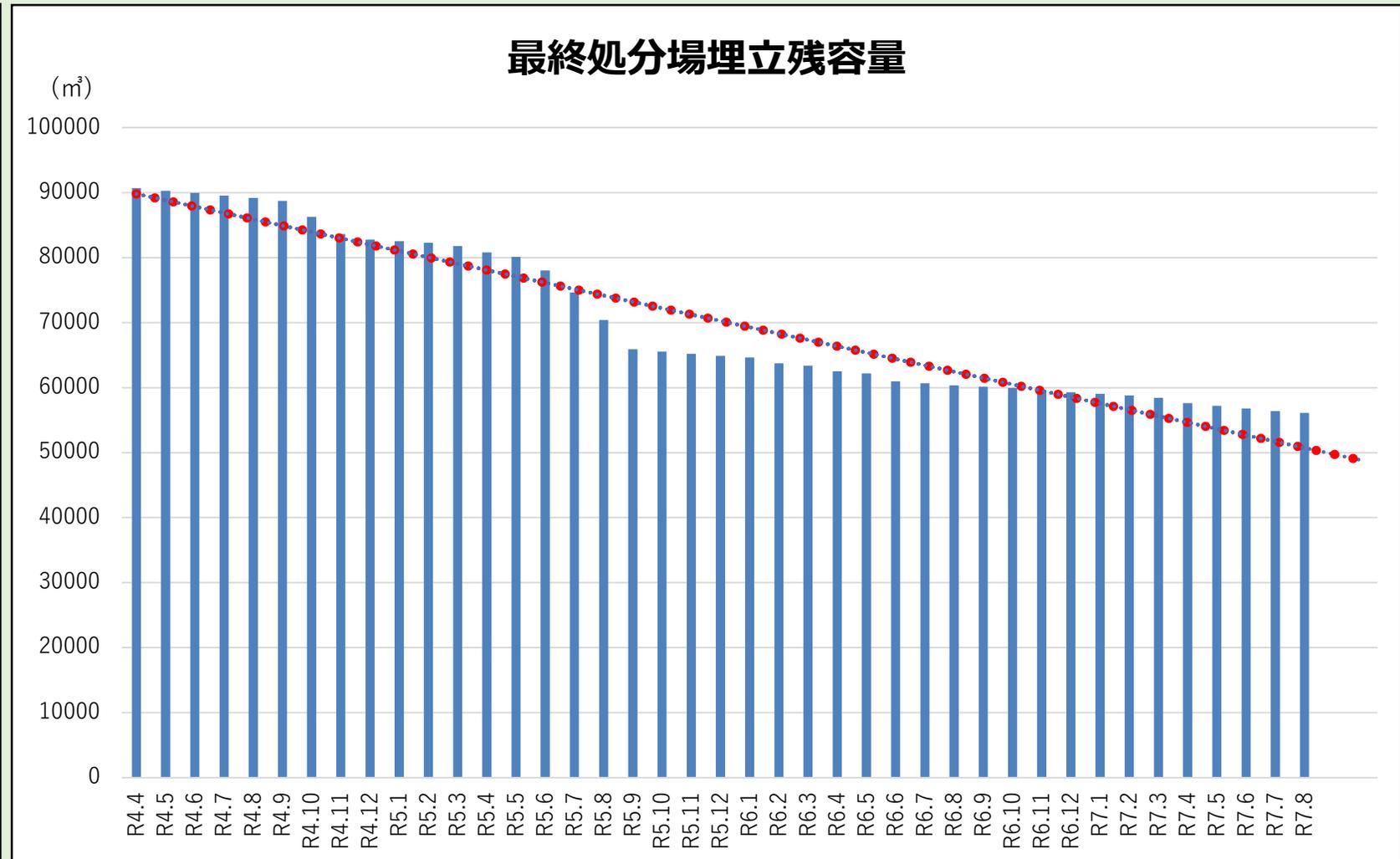
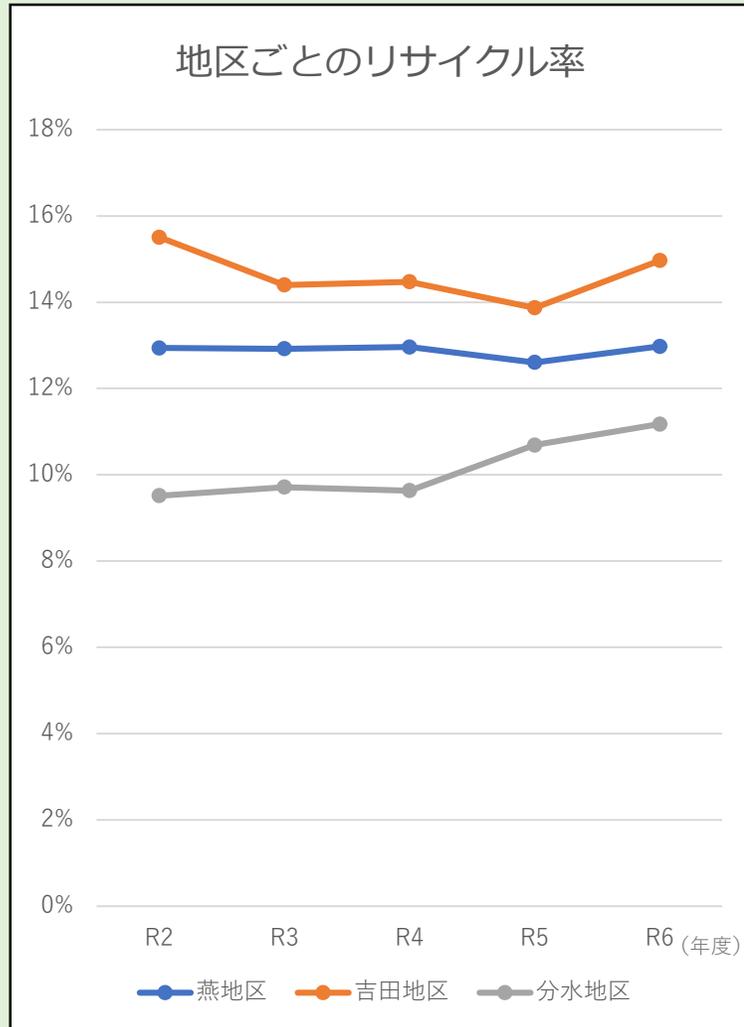


人口推移 (数値は年度末) (人)

	燕地区	吉田地区	分水地区	合計
R2	41,698	23,428	13,213	78,339
R3	41,437	23,197	13,053	77,687
R4	41,079	23,083	12,859	77,021
R5	40,814	22,871	12,637	76,322
R6	40,450	22,754	12,413	75,617

※R2年度は閏年のため366日で計算

ごみの収集量の推移③



※赤点線は平均の減少量。

ごみの減量に向けた取組①

・家庭用電動生ごみ処理機無料

おためし貸出事業（R6～）

- ごみの減量などに効果のある、コンポストや家庭用電気式生ごみ処理機を家庭で活用いただき、生ごみの減量化、焼却の効率化及びたい肥としての資源化を図るために実施。

	電動式生ごみ処理機	生ごみたい肥化容器（コンポスト）
R4	3台	10台
R5	2台	10台
R6	11台	5台
R7	8台	2台

※令和7年度はR7.12.25現在

◆補助概要

＜電動式生ごみ処理機＞

購入価格の2分の1を補助。

（上限額3万円、1世帯1台限り）

＜生ごみ堆肥化容器（コンポスト）

購入価格の2分の1を補助。

（上限額3千円、1世帯1台限り）

令和6年度から貸出を開始し、補助金を利用した電動生ごみ処理機の購入は増加している。

ごみの減量に向けた取組②

◆ 子育て支援連携事業

登録事業所から空き缶を、市民の皆様から古着を回収しその売却益で子どもたちのための絵本や玩具を購入するカンカン福服BOOK・TOY事業役目を終えた学生服や学用品を募り、新たに必要とする子育て世帯へ無料でお渡しする「学用品等リユース会」を社会福祉協議会と連携して行っているMONO²リユース事業の3つの事業として構成されています。

◆ カンカンBOOK・TOY事業

市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただき、その売却益で保育園等の絵本や玩具を購入する事業です。

令和6年度の登録事業所は35事業者、売却金額は、707,785円でした。

◆ 福服BOOK・TOY事業

市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で保育園等の絵本や玩具などを購入する事業です。

令和6年度の売却益は、118,738円でした。

◆ MONO²リユース事業

学用品のリユース（譲渡）会を開催し、ごみの減量化、再利用化につなげます。

また、まだ使える学用品をリユースすることで、各家庭、子どもの環境保全意識の醸成と子育て世代の負担軽減を図ります。

令和6年度は、2回開催し、合計約500人に1,000以上の学用品等を譲渡しました。

トリクロロエチレンの排出抑制にむけた取組

◆背景

県央地区は全国的に見ても金属加工業等が多く集積しており、金属製品に残った研磨剤の除去や脱脂洗浄にトリクロロエチレンが広く用いられています。全国のトリクロロエチレン使用量のうち約10%を燕市内の事業所が占めている一方で、使用事業所では適切な取扱いや危険性についての認識が不足している状態となっています。

◆トリクロロエチレンとは

無色透明の液体でクロロホルムに似た臭いを有する。

用途としては脱脂力が強いため、半導体産業での洗浄剤やクリーニング剤と使用されているが、発癌性が指摘されています。

◆環境基準とは

トリクロロエチレンは法律に基づいて環境基準が定められており、1年間の平均が130 μ g/立方メートル以下と定められています。

新潟県では毎月市内において常時監視1地点の他に、重点監視3地点でモニタリング調査を実施しています。

◆燕市の排出抑制に向けた取組

(燕市商工振興課)

①環境負荷低減支援事業

指定機関が実施する資格認定講習等の受講料の一部を補助。

②専門家派遣支援事業

公益財団法人にいがた産業創造機構が実施する生産工程の環境対策に資する専門家派遣事業を受ける際に要する負担金の一部を補助。

③設備改善資金支援事業

専門家の診断に基づいて実施する環境負荷低減のための設備投資に要する費用の一部を補助。

◆これまでの取組

○排出抑制対策や県央地域事業者の対策例などを取りまとめた

【トリクロロエチレン排出抑制に向けた自主的取り組みガイドライン】の策定

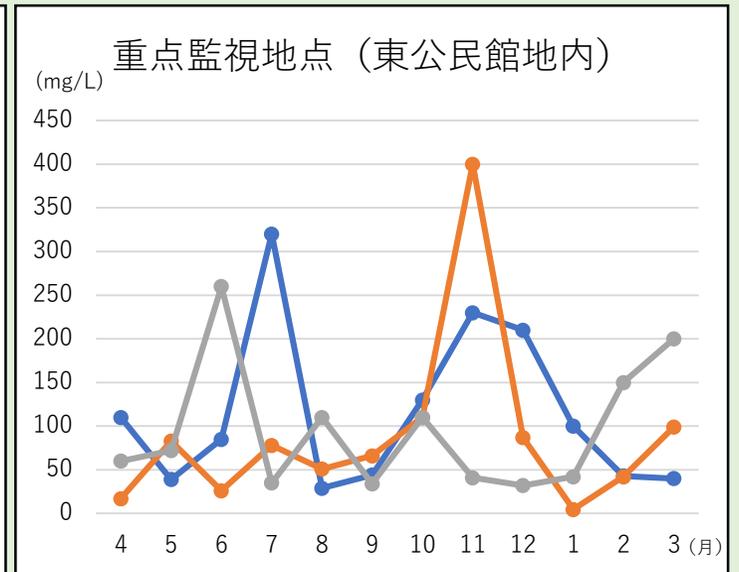
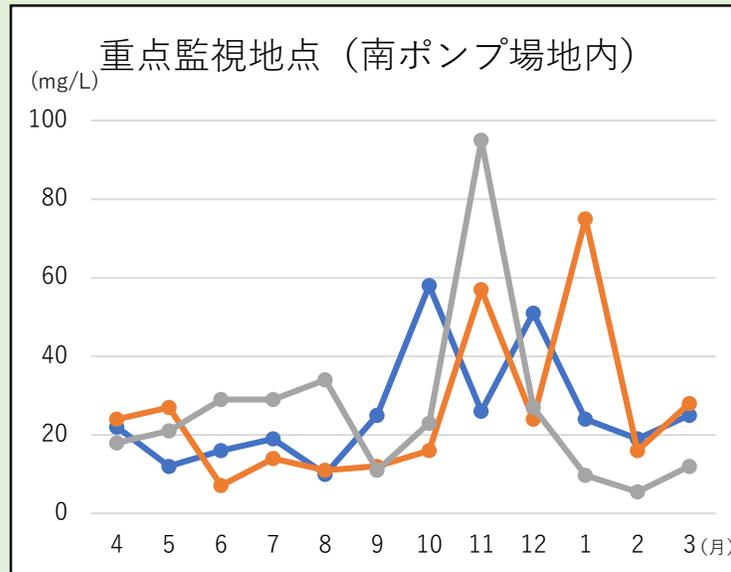
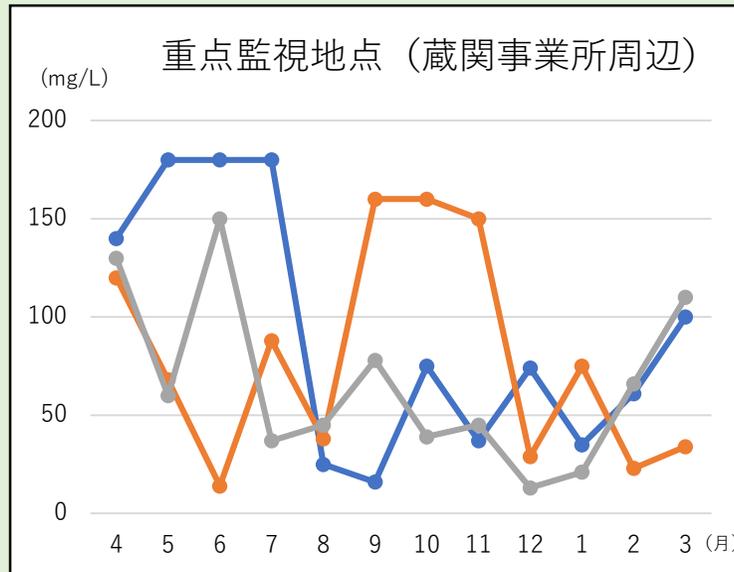
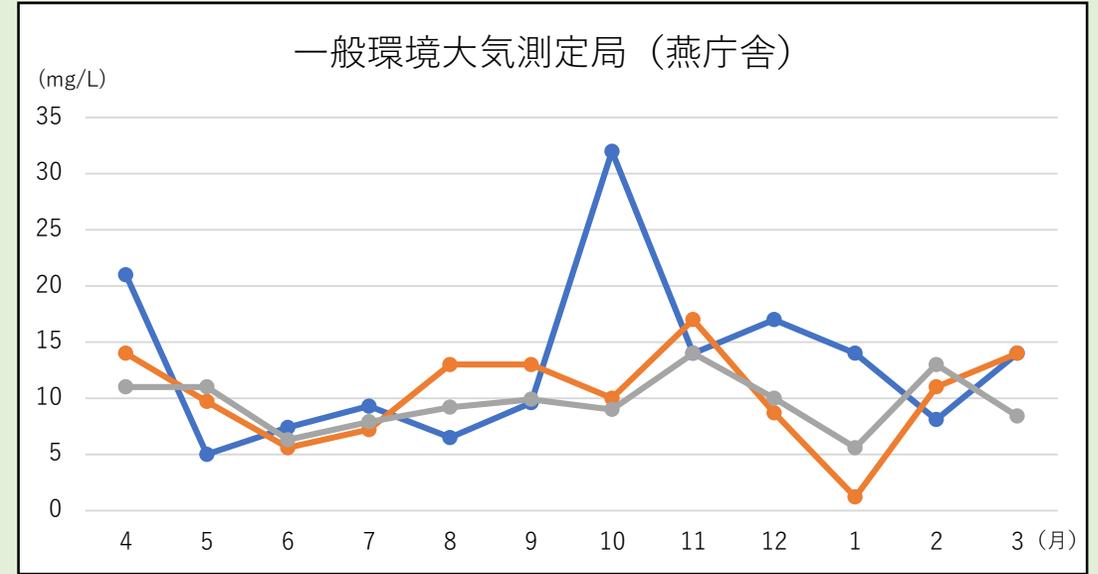
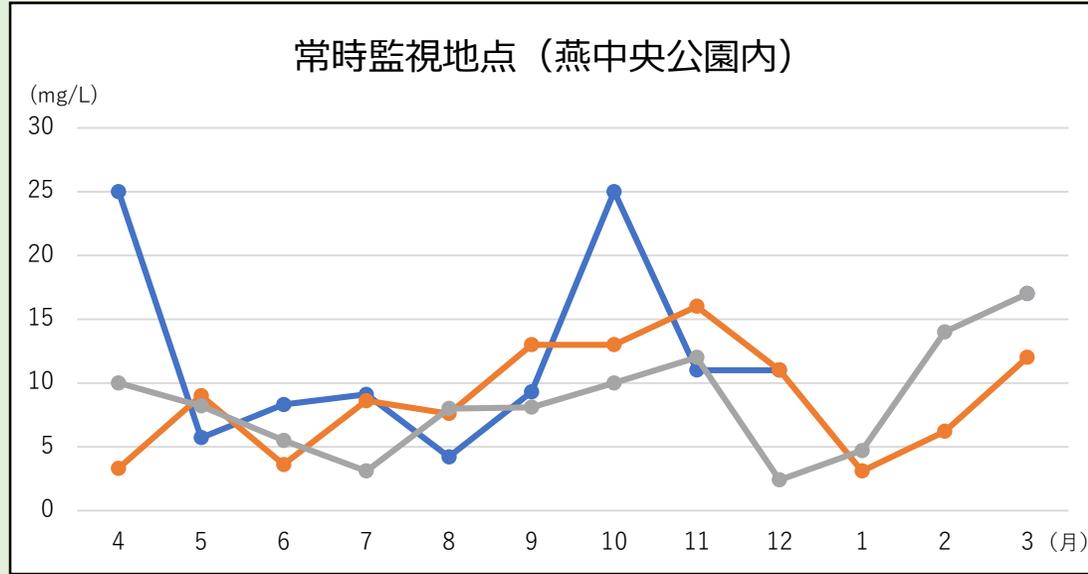
○排出抑制対策などをまとめた【排出抑制に関するリーフレット】の配布

○トリクロロエチレンを取り巻く現状と排出抑制技術に関する知識の普及を図る【排出抑制説明会】の定期的開催（令和7年度は12/11に開催済み）

○【燕市トリクロロエチレン排出抑制検討会】の設置

トリクロロエチレン測定結果

● R6 ● R5 ● R4



燕市内における公害防止活動

5月・8月・12月、燕地区の南町排水路の2地点（南公民館脇、少年野球場脇）で水質の測定を行いました。また、騒音常時監視として、環境騒音・自動車騒音測定を3地点と高速道路騒音測定を6地点で行いました。

◆騒音調査状況

①環境騒音、自動車騒音測定

調査地点	基準類型	調査月日
白山町1丁目地内	3	10/1-10/2
殿島1丁目地内	2	10/10-10/11
井土巻2丁目地内	2	10/17-10/18
井土巻五丁目地内	2	10/16-10/17
吉田下町地内	3	10/22-10/23

②高速道路騒音測定

調査地点	基準類型	調査月日
三王淵地内	B近接	9/17-9/18
井土巻地内	C	9/9-9/10
関崎地内	B近接	9/5-9/6
八王寺地内	B	9/11-9/12
八王寺地内	B近接	9/4-9/5

◆南町排水路水質検査状況 (南公民館・野球場脇)

検査項目	基準値 (mg/L)	検査結果
トリクロロフェン	0.02	環境基準オーバーなし
テトラクロロフェン	0.10	環境基準オーバーなし
1,1,1-トリクロロエタン	0.04	環境基準オーバーなし
1,1-ジクロロエタン	1.00	環境基準オーバーなし
ジス-1,2-ジクロロエタン	0.01	環境基準オーバーなし
ジクロロメタン	0.01	環境基準オーバーなし

※令和7年度より毎月の検査から三ヶ月に一度の検査に変更

◆クリーンアップ選手権大会

「I ♥ Tsubame・Clean up in 燕」（日本一きれいで輝く街を目指して！）の活動事業の一つとして、ごみ拾いに競技性を持たせ楽しく参加していただきながら、地域の環境やごみ問題に対する意識を高めることを目的としています。

また、まち歩きを通じて、風景などを楽しみながら地域の良さを新発見、再発見することを目的として開催しているものです。



◆クリーンデー燕（毎年春・秋開催）

クリーンデー燕は、地域の市民と子供たち、また、ボランティアの人々や団体が市内全域のごみ拾いや草刈りを一緒に行うことで交流するとともに、清潔で美しいまち燕の実現と環境美化意識の高揚を図ろうとするものです。

年次	参加数			
	春		秋	
	団体数	人数	団体数	人数
R7	125	4,676	134	4,772
R6	190	5,870	265	4,973
R5	149	5,609	135	5,509
R4	138	4,990	114	3,757

各種イベント・セミナー

- ふれあいフォーラム

- 2024年6月8日(土)開催
- 来場者 約2,700名

(大人:約1,800名、子ども:約900名)



- 出前講座 (食品ロスについて)

- 1自治会 (16人) 参加



- アダプト制度

- 1自治会 (23名) 加入

令和7年度からの新たな取組

ゼロカーボンシティに向けた取組

I-②

- 太陽光発電施設設置
 - 燕市下水終末処理場
 - R8.1.5稼働
 - 想定発電量
268,334Kwh/年
(下水終末処理場の電気使用量
2か月分に相当)
 - 垂直型太陽光発電設備の特徴
 - ①積雪影響の低減
 - ②狭小スペースに設置が可能
 - ③発電ピークの変動



ごみの減量に向けた取組

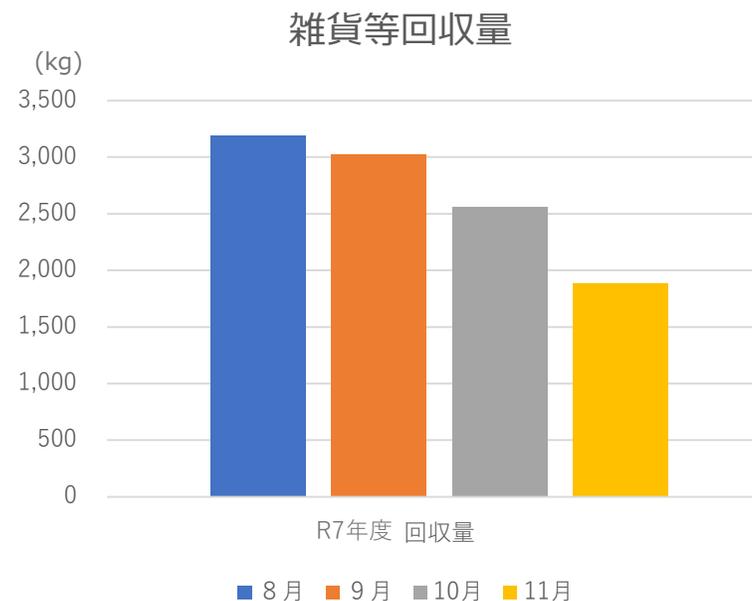
- 子ども応援ECOプロジェクト
 - 子育て支援連携事業として行ってきた事業に、新たに雑貨等の回収を始めるにあたり、プロジェクト化したもの。
 - 子ども応援ECOプロジェクト内容
 - カンカンBOOK・TOY事業（H27～）
 - 福服BOOK・TOY事業（H29～）
 - MONO²リユース事業（R5～）
 - MONO²夢みらい事業（R7～）

MONO²夢みらい事業

市民よりリユース可能な雑貨等を寄附していただき、その売却益は「子ども夢基金」を通して子どもたちの健やかな成長に役立てるもの。

令和7年度8月から開始。

8月から11月までの回収量は合計10,670kg



緊急銃猟制度について

- 大型獣類出没対応マニュアル (令和7年12月更新)
 - 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第28号）により、鳥獣保護管理法の一部が改正され、地域住民の安全確保のための措置を十分に講じた上で、大型獣の中でも特に人身被害を生じさせるおそれの高いクマ等（ツキノワグマ、ヒグマ、イノシシ）について、住居集合地域等よりも広い概念である人の日常生活圏での銃猟をすることを可能とする制度（緊急銃猟）が創設された。

燕市職員用
大型獣類出没対応マニュアル



令和2年12月
(令和7年12月 改訂)

燕市 市民生活部 生活環境課
TEL : 0256-77-8167 (直通)
メールアドレス : kankyo@city.tsubame.lg.jp

各種イベント・セミナー

・ふれあいフォーラム

- ・令和7年度からブースを増加
 - ・ゼロチャレ30土（新潟みどりの陣）
 - ・パナソニック ソーラートレイン

・出前講座（ごみの分別、減量、食ロスについて）

- ・吉田小学校 4年生（56人）

